

A

★TAKA/ Q48 2001-348261/37 ★JP 2001073651-A
Crime prevention lattice door for residential house, has lock fitted as annex equally to window glass and wire screen in window frame rail which is ununlockable from exterior

TAKAHASHI C 1999.09.01 1999JP-287185

(2001.03.21) E06B 9/01, E06B 9/52

Addnl. Data: TAKAHASHI S

(TAKA/)

Novelty: The crime prevention lattice door has lock (4) established as an annex equally to the window glass and the wire screen in the window frame rail. Unlocking of the lock from the external, is obstructed and during emergency the window glass is openable from inside for escaping.

Detailed Description: An INDEPENDENT CLAIM is also included for net used in crime prevention lattice door.

Use: Crime prevention lattice door for residential house and apartments.

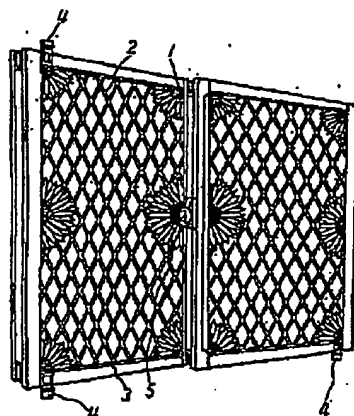
Advantage: Crime prevention lattice door prevents the theft etc, even when the window glass is in open state to provide fresh air ventilation. Opening of window glass, ensures escape during emergency e.g. fire etc.

Description of Drawing(s): The figure shows the isometric view of crime prevention lattice door.

Lock 4

(7pp Dwg.No.1/9)

N2001-252251



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-73651

(P2001-73651A)

(43) 公開日 平成13年3月21日 (2001.3.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テームコード (参考)
E 0 6 B 9/01		E 0 6 B 9/01	K 2 E 0 2 0
	9/52	9/52	G
			A

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平11-287185

(22) 出願日 平成11年9月1日 (1999.9.1)

(71) 出願人 599141788

高橋 千恵子

千葉県柏市布施新町4-11-10

(71) 出願人 599141799

高橋 里江

千葉県柏市布施新町4-11-10

(72) 発明者 高橋 千恵子

千葉県柏市布施新町4-11-10

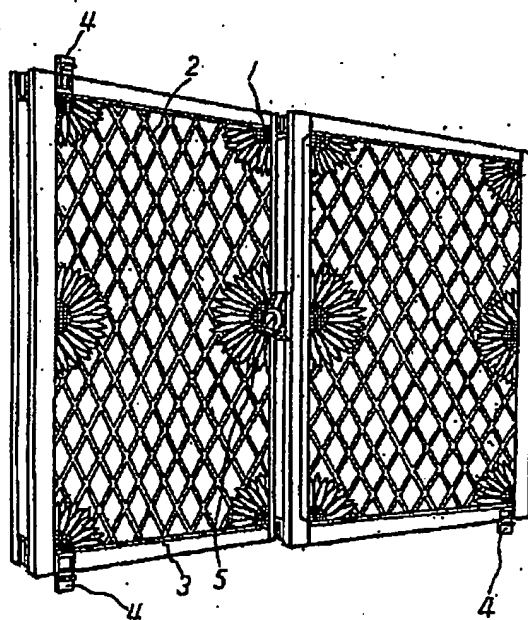
Fターム (参考) 2E020 BA02 BB03 BC05 EA01 EA05

(54) 【発明の名称】 防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸

(57) 【要約】

【課題】 建造物の外壁面にネジで固着している格子は、ネジを緩めることで簡単に取り外すことができる為、不法侵入者を阻止する防犯対策具の意味がない。また建造物が火元で火災等の非常時には、格子が避難口を塞ぎ、緊急避難を阻止する結果になる為、格子を外壁面に固着せず、窓枠レールに格子戸として嵌入し、スライドさせることで開閉する錠前付き格子戸の提供が必要。

【解決手段】 窓枠レールに嵌入設置する防犯、防災目的の格子戸に取り付けた、錠前4、咬持錠前5を外側から開錠されることを阻止する目的で、格子目間隔を狭くした格子2に細目柄格子1を具備し、網布8を付着させ、格子戸が家内の自然換気の役割も果たす構成。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 不法侵入者が家宅侵入を果たそうとする為に、窓硝子を破壊し錠前を開錠する行為を阻止する目的で、窓硝子、網戸と同等に窓枠レール内に併設する錠前付き格子戸であり、窓硝子を開放し家内の空気を常に新鮮な状態にして外出できる等、多種利便な特徴を持たせた防犯格子戸。

【請求項2】 請求項1記載の防犯格子戸に網布を付着し、網戸と防犯格子戸の両機能を果たす、利便な特徴を持たせた網布付き防犯格子戸。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、窓枠レール内に設置し、開閉できる防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸に関する。

【0002】

【従来の技術】従来、窓硝子、網戸と同等に窓枠レール内に嵌入し、左右にスライドさせることで開閉する、錠前付きの防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸は、開錠提供されていない為に、下記構成の格子である。

【0003】不法侵入者の家宅侵入を阻止する為に、台所、浴室等の中窓や小窓の外壁面に金属及び木製の単調な構成の、図5従来の格子をネジ止め固着して防犯対策をとっているが、庭やテラスに面している家族の出入りが頻繁にある場所の大窓には、不法侵入者阻止目的の、格子をネジ止め固着することができない為に、防犯対策をとれず無防備な状態のままである。そのため夜間就寝時や外出時は、家の窓硝子を全て閉じ二枚対の窓硝子縁枠が重なる箇所に設置されている、錠前をロックして家を密閉状態にすることで一応の防犯対策になり、就寝や外出をするケースが多いが、家内の換気ができず空気が淀んだ状態になる。

【0004】

【発明の解決しようとする課題】従来、提供されている窓硝子を覆う防犯目的の格子は、ネジで外壁面に固着しているだけの単純な構成なので、ネジを緩めることで簡単に格子を取り外し、窓硝子破壊後、泥棒が家内にたやすく侵入することができる。また格子目も広い為にストーカー犯罪者等の手が容易に格子目に挿通し窓硝子に接触できる為、窓硝子の錠前を掛け忘れることで家内の様子を簡単に覗かれ犯罪につながるケースが多い。更に一番の問題点は、庭やテラスに面している家族の出入りが頻繁にあるような大窓設置場所では、格子を取り付けることができない為、簡単に錠前位置の窓硝子にガムテープを貼着し、硝子カッターで部分切断することにより窓硝子の損傷を最小限におさえ、切断部分の窓硝子から家内に手を挿通し、錠前を開錠後、窓硝子を開けて家宅侵入することができる。

【0005】また、家内で火災発生時、猛火に覆われ逃げ場がなく浴室等格子を設置している窓からは、外壁面

の格子を取り外すことが不可能な為、避難できずに焼死するケースが多い。このことから防犯目的の格子が、災害時には避難を阻止する結果となる。

【0006】更に、就寝時や外出時、防犯対策として家の窓硝子を全て閉じ窓硝子に設置されている錠前を閉め、家を密閉状態にして就寝したり、外出するが、家内の温度が徐々に上昇することで、壁紙や木製建具に含まれる揮発性の有害物質ホルムアルデヒド等が、空気中に放散され健康に障害を与えるような劣悪な環境を引き起こすことがある為、家の窓硝子を開け常に風通しを良くすることが必要である。

【0007】

【課題を解決するための手段】そこで本発明においては、上記の課題をすべて解決できる手段を用いた。まず請求項1の手段で、窓硝子7に固着されているものと同じ機能の、回転させることでロック、開錠できる咬持錠前5を、対の防犯格子戸の格子縁枠3が重なる中心位置に設けたことで、対の防犯格子戸を閉じたさい固定維持し、更に対の防犯格子戸の片面右の格子縁枠3上部位置、下部位置の端と片面左の格子縁枠3下部位置の端に、上下させることでロック、開錠できる錠前4を具備したことにより、防犯格子戸を窓枠6に固着することができる為、外部から防犯格子戸を取り外す行為が不可能になる。

【0008】また、格子2の網目間隔を狭くしたことで、格子2の網目に手を挿通することを防止させる。更に咬持錠前5、錠前4を保護する目的とファッション性を加味する目的の細目柄格子1を具備したことで、手は勿論、指すらも細目柄格子1に挿通することが不可能になり、従来のような格子目から硝子カッターを挿通し窓硝子7を切断して錠前4、咬持錠前5を開錠することが不可能になる。そして、対の防犯格子戸を窓枠6の上下に具備したレール11に嵌入設置し、左右にスライドさせることで開閉できる状態になる。

【0009】請求項2の手段は、上記請求項1の防犯格子戸に網布8を付着した構成で、網戸12と請求項1記載の防犯格子戸の両機能を兼ね備えた網布付き防犯格子戸であり、網戸が不要になる手段である。

【0010】

【発明の実施の形態】本発明の防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸の製作に当たっては、素材を樹脂及び金属、また樹脂、金属の複合や樹脂、木の複合等で成型する方法がある。

【0011】防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸の専用のレールを具備した格子戸枠を製作し、従来の窓枠に固着する方法もある。

【0012】防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸の色は、光を透過させる透明、色透明をはじめ、色もの、色柄ものなど多種考えられる。

【0013】防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸を対

にして、片面を網戸と同じ要領で使用方法がある。

【0014】防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸の格子のデザインは、縦横の升目格子、斜め格子、円形格子と多種デザインが考えられる。また錠前を保護する目的とファッション性を加味する目的の細目柄格子のデザイン、大きさ等も無限に考えられる。

【0015】防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸に錠付き錠前を設置し、製作する方法がある。また錠前の種類、設置位置、設置数は限定しない。

【0016】網布付き防犯格子戸の、網布の付設方法は網戸と同じ方法及び、網布付き防犯格子戸に網布を付着させる為の、固定留め具を具備し製作する方法がある。また網布の色は、透明、色透明をはじめ、色もの、色柄ものと考えられる。

【0017】その他、防犯格子戸及び、網布付き防犯格子戸に関することは限定しない。

【0018】

【実施例】実施例について図面を参照して説明する。図1は請求項1記載の防犯格子戸の斜視図である。対の防犯格子戸を閉じた状態で固定する咬持錠前5、窓枠6に對の防犯格子戸を固着する錠前4、また格子目間隔を狭くした格子2、更に咬持錠前5、錠前4を保護する目的とファッション性を加味する目的の細目柄格子1で全体を構成している状態を示している。

【0019】図2は請求項1記載の防犯格子戸の一部を切欠した正面図である。対の防犯格子戸を閉じたさい固定維持し、回転させることでロック、開錠できる咬持錠前5と細目柄格子1の形状を示している。また、不法侵入者が手や硝子カッターを挿通しようとする行動を起こしても、細目柄格子1が阻止する状態を示している。

【0020】図3は請求項1記載の防犯格子戸の一部を切欠した斜視図である。窓枠6に防犯格子戸を固着する為の、格子縁枠3に具備した上部端の錠前4の、ロックさせた状態を示している。また対の防犯格子戸の、片面右の格子縁枠3端上部、下部と片面左の格子縁枠3端下部に具備した錠前4をロックすることで、窓枠6に防犯格子戸が順次固着され、外部から防犯格子戸を取り外すことが不可能になる。更に、外部から錠前4を開錠しようとする行為も、細目柄格子1が阻止する為に不可能である。

【0021】図4は請求項1記載の防犯格子戸の使用状態を示した図である。窓枠6の上下に具備したレール11に對の防犯格子戸を嵌入することで、窓硝子7と併設して窓枠6に取り付けた状態を示している。また窓硝子7と防犯格子戸の位置を変更し取り付けすることも考えられる。

【0022】図5は従来の格子の使用状態を示した図である。住宅外壁面に従来の格子9をネジ10で固着した状態から分かるように、ネジ10を緩めることで簡単に格子9を取り外すことができる。また、家内で火災発生

時は格子9が避難を妨げる結果になる。このような不便な問題の解決が必要である。

【0023】図6は請求項2記載の網布付き防犯格子戸の斜視図である。対の網布付き防犯格子戸を閉じた状態で固定する咬持錠前5、窓枠6に對の網布付き防犯格子戸を固着する錠前4、また格子目間隔を狭くした格子2と咬持錠前5、錠前4を保護する目的の細目柄格子1、更に、格子戸に網布8を付着した状態を示している。

【0024】図7は請求項2記載の網布付き防犯格子戸の一部を切欠した正面図である。対の網布付き防犯格子戸を閉じたさい固定維持し、回転させることでロック、開錠できる咬持錠前5と細目柄格子1の形状を示している。また格子戸に網布8を付着したことで、害虫の侵入を阻止する構成になる。更に網布8の付着のしかたは、内側から設置する方法と外側から設置する方法が考えられる。

【0025】図8は請求項2記載の網布付き防犯格子戸の一部を切欠した斜視図である。窓枠6に網布付き防犯格子戸を固着する為の、格子縁枠3の上部端に設置した錠前4をロックした状態を示している。また、網布8や細目柄格子1の色彩を部分的に変え、色透明の樹脂で製作することで、ステンドグラス的な多種デザインが楽しめる状態になる。

【0026】図9は請求項2記載の網布付き防犯格子戸の使用状態を示した図である。窓枠6の上下に具備しているレール11に、対の網布付き防犯格子戸を嵌入することで取り付け設置でき、窓硝子7と併設して窓枠6に設置した状態を示している。また、網布付き防犯格子戸を使用することにより網戸が不要になる。更に、対の網布付き防犯格子戸の格子縁枠3に具備した、錠前4をロックして窓枠6に固着しておくことで、咬持錠前5のロックを掛け忘れたとしても、錠前4のロック効果で外部から網布付き防犯格子戸を開けることが不可能である。

【0027】

【発明の効果】本発明の、防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸を使用することで、就寝時や外出時、窓硝子を開けた状態のままに就寝したり、外出することができる為、家内の空気を常に新鮮な風通しの良い状態に保つことができる。

【0028】また、従来は防犯対策ができず不備があった、家族の出入りが頻繁にあるような大窓設置箇所やテラスにも利用でき、泥棒等の犯罪被害が激減する。更に、火災等非常時の避難口が確保でき、従来のような外壁面に設置している格子が避難を阻止する結果になり、焼死するようなケースがなくなる。

【0029】そして、防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸が窓硝子を保護する構成なので、台風時等の雨戸とし利用でき、強風により飛来する瓦や物等から窓硝子を保護する。また防犯格子戸及び網布付き防犯格子戸が、従来にはない住宅、マンション等の装飾アクセサリ品と

して利用できる。更に、網布付き防犯格子戸の網布を取り外し、和紙や絹織物の紙を付着させ室内の仕切り戸として使用することで、従来にはない新たな和洋折衷のインテリアとして楽しむことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】請求項1記載の防犯格子戸の斜視図

【図2】請求項1記載の防犯格子戸の一部を切欠した正面図

【図3】請求項1記載の防犯格子戸の一部を切欠した斜視図

【図4】請求項1記載の防犯格子戸の使用状態を示した図

【図5】従来の格子の使用状態を示した図

【図6】請求項2記載の網布付き防犯格子戸の斜視図

【図7】請求項2記載の網布付き防犯格子戸の一部を切欠した正面図

【図8】請求項2記載の網布付き防犯格子戸の一部を切

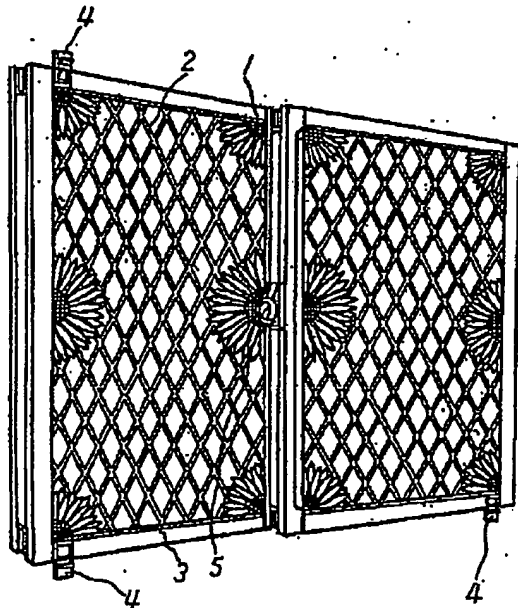
欠した斜視図

【図9】請求項2記載の網布付き防犯格子戸の使用状態を示した図

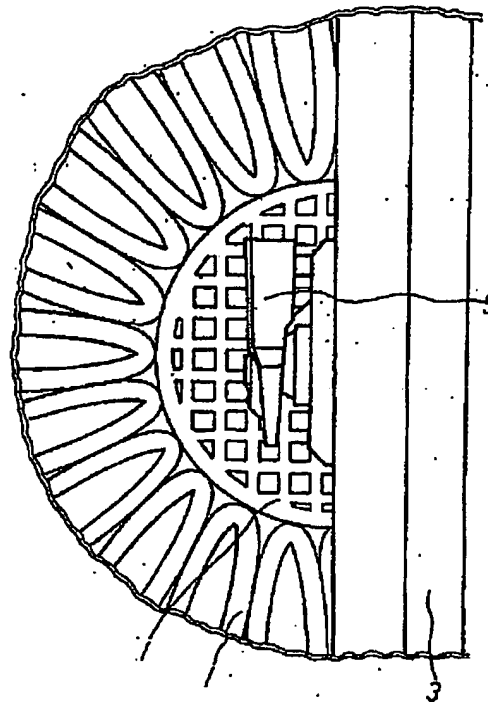
【符号の説明】

- 1 細目柄格子
- 2 格子
- 3 格子縁枠
- 4 錠前
- 5 咬持錠前
- 6 窓枠
- 7 窓硝子
- 8 網布
- 9 従来の格子
- 10 ネジ
- 11 レール
- 12 網戸

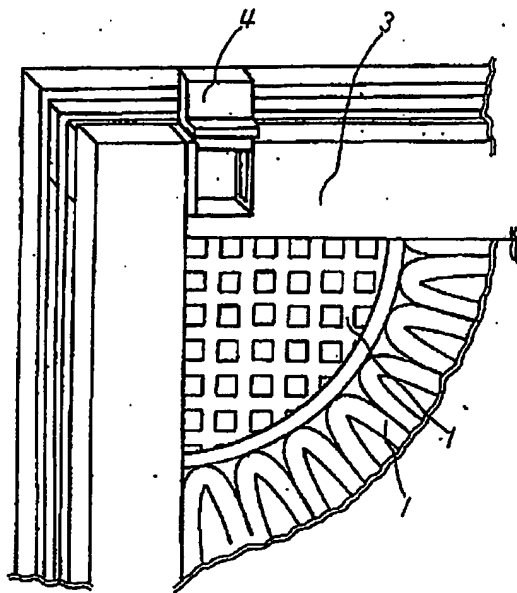
【図1】



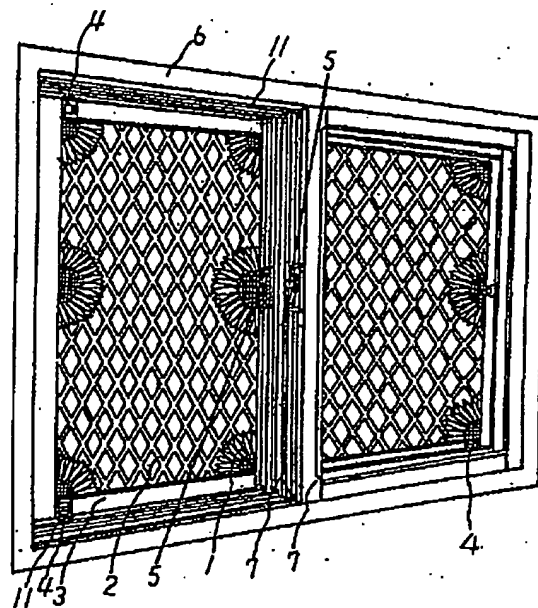
【図2】



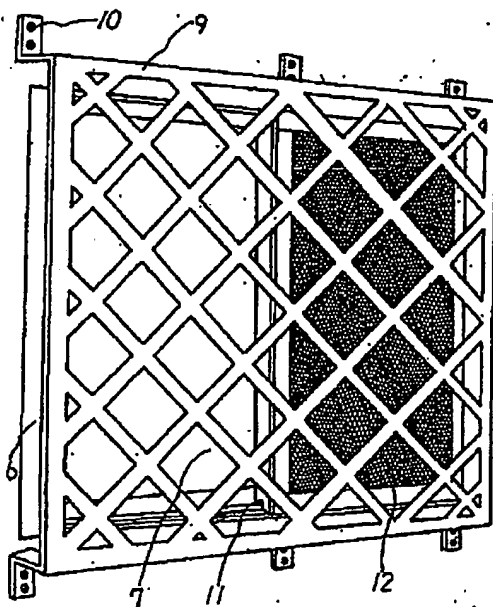
【圖3】



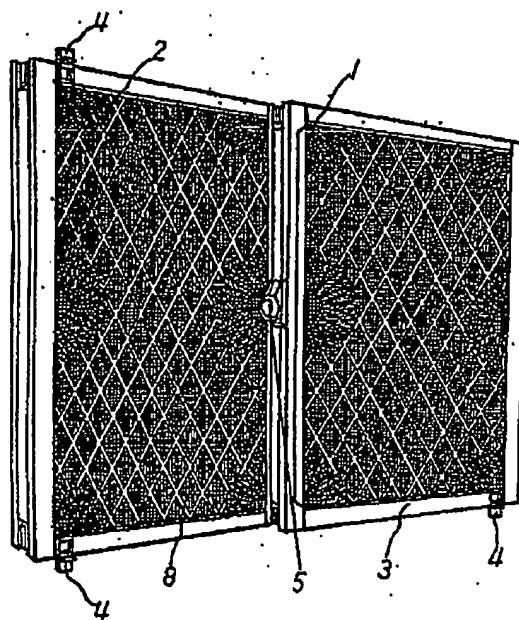
【圖4】



【圖5】

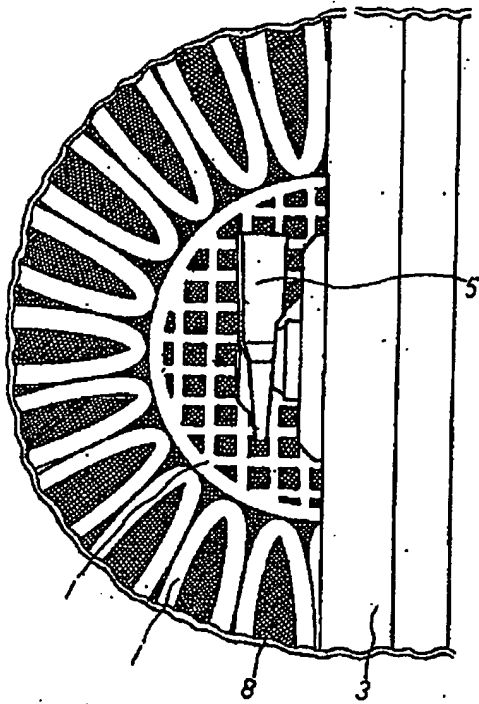


【圖6】

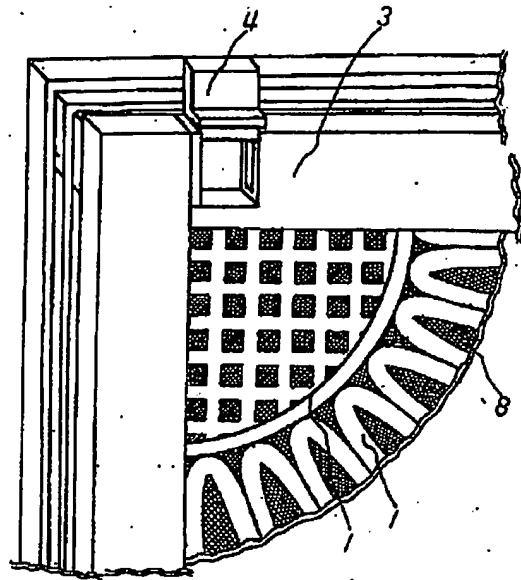


BEST AVAILABLE COPY

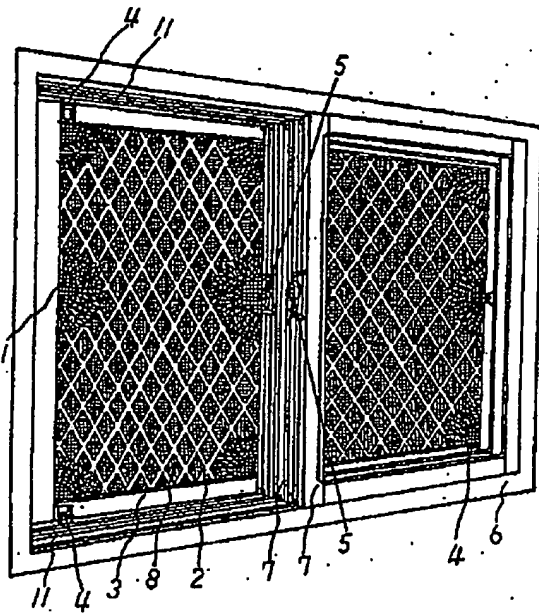
【圖7】



【圖8】



【圖9】



BEST AVAILABLE COPY

【手続補正書】

【提出日】平成12年6月26日(2000.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 格子(2)に細目柄格子(1)を部分的に備えたものを、格子縁枠(3)で囲い格子戸を形

成し、この対で使用する格子戸を固着させる咬持錠前(5)、格子戸を窓枠(6)に固着する錠前(4)を格子縁枠(3)に装着した構成の格子戸であり、格子戸を窓枠(6)のレール(11)に嵌入し、窓硝子(7)や網戸(12)と同等に併設してスライドさせることで、開閉することを特徴とした防犯格子戸。

【請求項2】 請求項1に記載の防犯格子戸に網布(8)を付着し、網戸(12)と格子戸の両機能を果たす、利便な特徴を持たせた網布付き防犯格子戸。